

崇城大テコンドー部創部15周年記念祝賀会 7月11日 アークホテル

平成7年に当時の熊本工業大学のテコンドー同好会として発足した崇城大テコンドーは、平成12年に正式のテコンドー部となり、その創部15周年記念祝賀会が、現役部員、OB、OG、県協会役員など51名が出席して行われた。

福元陽一OB会会長が中心となり節目々にこのような祝賀会を開催し、現役部員を激励している。福永哲法監督になり、一段と熱が入って来ている同部の今後が楽しみである。



記念撮影

国技院主催、昇品審査員研修会に樋口会長他5名が参加! 7月26日～29日 韓国・ソウル グランドヒルトンホテル



記念撮影



17年ぶりの再会 李在憲師範と

国技院は、MOU契約を結んだ各国の昇段品審査について、今回から、各国での審査について、国技院が認定した審査員での審査を行う新たな制度を設け、その第一歩として、海外師範の審査員研修を行った。

研修会には、世界40カ国から169名が参加、日本からは、金漢老師範をはじめとして、桑田一夫国際師範、芝田良樹国際審判、細江順一連盟専務理事、李光浩国際師範、樋口悦夫国際師範が参加、三日間に亘り、審査員としての基本セミナー、実技が行われた。

今後、国内での3段以上の審査が公開審査となる予定であり、厳正な審査を行い正しいテコンドーの発展に前進する第一歩だと云える。

夏季昇段級審査に117名が受験! 8月2日 県民運動公園体育館

本年度2回目となる昇段級審査会は、県民運動公園体育館に117名が受験した。今回は、鹿児島県からも参加があり、受験者は真夏の暑い中真剣に取り組んでいた。



真剣に取り組む選手たち

第1回全日本テコンドー連盟主催 WTFルール・実技指導者講習会 11月7～8日 東京都中央区立 明正小学校体育館

全日本連盟主催の第1回指導者講習会が東京都の明正小学校体育館で開催され、全日本連盟加盟の全国各県の師範・指導者及び今回はITFから柳会長・増田副会長をはじめ各道場の師範・選手が約20名が参加し合計40名が、国技院日本担当師範の金漢老師範、韓国文化院師範の李光浩師範から二日間に渡りWTFの競技ルールの説明・審判のハンドシグナルの実技及び基本の立ち方、基本技、プンセと受講者は真剣に取り組んでいた。

講習会に先立って午後1時より全日本テコンドー連盟の総会が行われ、県協会から樋口会長の代理として西田事務局長が出席した。



記念撮影

テコンドーくまもと Vol.46

TAEKWONDO KUMAMOTO

2015.6▶2015.11



ITF日本国際テコンドー連盟との交流協定調印式

県協会創立30周年記念式典 全日本連盟と国技院との協定締結報告会 盛大に開かる!

7月19日 ホテル日航熊本



記念撮影

1985年(昭和60年)に当時の全国組織「日本テコンドー協会」に加盟してから、早30年が経過した県協会の創立30周年を記念しての式典と祝賀会及び、5月19日、韓国、世界テコンドー本部「国技院」と全日本連盟とのMOU契約協定締結の記者会見及び報告会が、7月19日、ホテル日航熊本で207名が出席し盛大に開催された。

当日3時から記者会見が行われ、全日本連盟と国技院がMOU契約締結に至った経緯等がオヒョンドク国技院副院長から報告された。その後、ITF日本国際テコンドー連盟との交流協定調印式が行われ、両団体が垣根を越えてテコンドー普及に前進することを誓った。

会場を移し第一部として、国技院とのMOU契約協定締結報告が行われ、オヒョンドク副院長からの挨拶に続き、武田正博全日本連盟理事長の挨拶が行われた。

国技院からは、沢田一精元県知事(県協会名誉顧問)筑紫汎三(県協会相談役)武田正博理事長、樋口悦夫県協会会長へ感謝状、表彰状がそれぞれ行われ、連盟、県協会からは、記念品が国技院へ贈られた。

その後、第二部の県協会創立30周年記念式典となり、樋口悦夫会長がお礼の挨拶、県協会顧問、協賛各社、各支部長、優秀選手などに県協会から感謝状、表彰状がそれぞれ贈られた。

佐藤義興、阿蘇市長の乾杯発声の後、高橋和成戸山流居合道師範による真剣による抜刀術や、武道館支部の子供達、学園大の阪上、宮本選手の演武も行われ、会場から大きな拍手が贈られた。

今年から、県協会の顧問に就任した、松野明美県議会議員からは、激励のあいさつがあり祝宴に華を添えた。30周年を祝うに相応しい盛大な祝賀会となった。これからの県内テコンドーの更なる普及と発展に期待したい。



調印式

沢田一精名誉顧問

佐藤義興阿蘇市長

演舞の様子

演舞の様子

会場の様子

日本国際テコンドー連盟の皆さんと

花束贈呈 オヒョンドク副院長へ

松野明美境界顧問と記念撮影

テーブルを回って



※大会結果の詳細はホームページに掲載

第21回県選手権大会、MVPに神垣貴晶選手（熊大）！ 6月14日 県民総合運動公園体育館



選手宣誓

今年で21回を迎える第21回県選手権大会は、県内各道場、高校、大学等から82名が参加して開催された。宮本絵美里選手（学園大）の選手宣誓の後、ブンセの試合から行われた。

ブンセ競技もここ数年は、エントリーする選手も増えてレベルも一段と上がり、特に、宮本選手は、全日本での優勝に続き、今大会、圧勝で一般の部の優勝を飾った。

キョルギでは、中学生女子の山本悠菜選手（阿蘇）が、一般女子の部に出場、大学生相手に見事優勝を手にした。一般男子の部は、1年ぶりの試合出場ながら、そのスピードは未だに衰えてない神垣貴晶選手（熊大）が-58kg級で頂点に立った。

重量級では、阪上弘一選手（学園大）牧野信一選手（玉名）の決勝となり、全日本の重量級クラスでは、共にトップクラスの両者が戦い、白熱した試合となり阪上選手が勝利した。

両選手の戦いに、会場から大きな拍手が贈られた。

第41回熊日学童オリンピック総合開会式開かる！ 6月27日 県立総合体育館

第41回熊日学童五輪の総合開会式が、27日、18競技の代表200人が参加して行われた。テコンドー競技は、第38回大会から参加、県協会は県小学生大会としても同時開催している。開会式には、合志支部西合志道場から10名が参加した。

テコンドー競技は8月30日に宇城市まつばせウイングで行われる。



開会式の様子

第7回熊本市テコンドー選手権大会に63名が熱戦！ 7月12日 県民運動公園体育館



試合の様子



試合の様子

今年の熊本市選手権大会（第6回熊本市杯スポーツ大会）は、熊本市テコンドー協会に加盟する道場、大学及び、県内道場からのオープン参加を含めた63名が、キョルギ、ブンセに出場し、熱戦を繰り広げた。

最優秀選手には、中学生ながら一般女子合同級に出場し、優勝を飾った野田里香子選手（川尻）が選ばれた。

2015世界ハンマダン大会盛大に開催！ 7月30日～8月2日 韓国・ピョンテク市

キョルギ以外のブンセ、キョツパ、デモンストレーション等の武道テコンドーの祭典、ハンマダン大会（国技院主催）は、韓国ピョンテク市で世界62カ国から1200人が参加して盛大に開催された。

開会式に参加した、武田正博理事長、樋口会長は、日本に於いても武道テコンドーの普及のため、キョルギのみでなく様々なテコンドーの魅力を伝えて行くべきだと国技院演武団の演武を観ながら、今後の連盟の方向性を模索した。参加した日本選手では、兵庫県協会、李光浩師範の生徒、西田選手がキョツパの部で見事に金メダルを獲得した。



開会式の様子

宇土道場・初優勝！熊日学童五輪！ 8月30日 まつばせウイング



試合の様子



優勝旗を受け取る宇土道場

第41回熊日学童五輪テコンドー競技兼第4回県小学生大会は、県内道場から72名が出場して、開催された。

競技はブンセ個人から行われ団体ブンセは、熊本武道館Aが、二年ぶり三度目の優勝をはたし、キョルギ団体戦では、一昨年優勝の不知火道場と宇土道場の決勝戦となり、宇土道場が2対1で、競り勝ち初優勝を飾った。

国際親善・くまもとオープン・181名が熱戦！ 10月4日 阿蘇市体育館

県協会30周年の記念事業として、アメリカ、台湾、韓国からの選手を招いての、国際親善・第6回くまもと阿蘇オープン選手権大会が、181名の選手が参加し、阿蘇体育館で盛大に開催された。

アメリカチームは、現在、カリフォルニアで道場指導者として活躍している河野朋浩、元竜田支部長の関係で、ヘイワード大学から、韓国チームは、牙山市協会と韓国体育大学から、台湾チームは、台北市からの総勢57名が参加した。

国内は、7月にITF日本国際テコンドー連盟との交流締結を受けての、関東地区、関西地区からの選手、そして全日本連盟の九州各県選手を交えての盛大な大会となった。

開会式では、樋口悦夫県協会長の、主催者挨拶に続き大会名誉会長である佐藤義興、阿蘇市長の激励エールで会場が沸いた後、韓国牙山市（アサン）協会のメンバーによるデモンストレーションが行われ、アクロバットな演武に会場に詰めかけた多くの観客からは大きな拍手が鳴り響いた。

その後ブンセ競技から行い、団体では、台湾チームが、レベルの高さを見せつけ優勝。

また、ITF関西のメンバーもWTFのブンセをかなり修練したのか、まとまりのある型で入賞した。

キョルギでは、やはり本場、韓国勢の勢いがあり、男子有段-68kgでは、名門、韓国体育大のLee DoeHyeon選手が、決勝で小村宥喜選手（熊大）に勝ち優勝、MVPを手にした。

有段-58級の決勝は、宮崎県同士となり、5月の全日本で優勝を飾った永坂吏羅選手が長谷川晃暉選手を制し嬉しい優勝を飾った。一般女子では、韓国勢が-57kg、-67kgで優勝、-49kgは、福岡の坂口由依選手が優勝した。

中学生の部は、男子3階級、女子1階級が行われたが、男子の軽量級、中量級は、韓国勢が優勝、重量級は、森永修斗選手（武道館）が、韓国選手に競り勝ち嬉しい優勝を飾った。また、中学女子の決勝では、野田里香子選手（川尻）が、台湾の選手の勝利し優勝を手にした。

今回の大会に初参加した、ITFの選手も慣れないWTFのルールの中で小学生の部で2名が優勝するなど、ルールを熟知すれば、例え一般の部に於いても上位入賞するレベルの選手も数多く視られ、また、ブンセでは、全般的にレベルが高く、WTFの選手も勉強させられた感があった。

今大会は、30周年に相応しい大会となり、国際親善とITF選手との交流が出来、成功裏に終わったと云える。



試合の様子

県議会議員「松野明美」さん、県協会顧問に就任！ 6月24日 熊本県議会館



委嘱状を手にする松野明美県議会議員

1988年、ソウルオリンピックに出場、日本を代表する選手として活躍後、現在タレント業他、福祉関係のセミナーの講師を務め、2011年より熊本市議会議員として活躍、今年新たに県議会議員として、トップ当選を果たした松野明美県議会議員が、今回、県テコンドー協会の顧問として就任することとなった。

24日、樋口悦夫県協会会長が、松野氏に面談、委嘱状を贈り、今後、テコンドーへの協力を約束、スポーツ関係に明るく、選手の気持ちを一番理解している松野明美さんに期待したい。